

平成25年度
商店街通行量調査
結果報告書

平成26年6月

熊本市・熊本商工会議所

はじめに

我が国の経済情勢は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響が見受けられるものの、次第にその影響が薄れ、緩やかに回復していくことが期待されております。しかし、一方では海外景気の下振れが引き続き景気を下押しするリスクとなっているなど、中小企業をはじめ地域経済を取り巻く環境は依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような中、商店街を取り巻く環境は厳しく、消費者ニーズの多様化に伴う郊外型大型店、ネット販売等による小売業全体の競争激化、店主の高齢化・後継者不足に加え、全国チェーンの進出による個性の喪失など、様々な問題に直面している状況にあります。

さて、本市では、一昨年4月の政令指定都市移行により区政が施行され、5つの行政区を拠点とし、各区の特色や活力を活かした自主自立のまちづくりを推進してまいりたいと考えており、そのためには区民の皆様をはじめ地域団体の方との協働が大切であります。

商店街においても、従来の商業集積地・消費地としての機能はもとより、住民の交流拠点・憩いの場、防犯・防災等の自治活動の主体、地域コミュニティの担い手としての機能と役割の重要性が高まっており、商店街の活性化を図るための支援が求められています。

本調査は、市内主要商業地の現状と推移を歩行者通行量の面から把握し、本市の商業振興及び商店街の活性化に資することを目的に、昭和43年から実施しているものです。

平成25年度は、10月18日（金）・10月20日（日）に市内37地点において調査を実施しました。

その調査結果を取りまとめましたので、ご報告いたしますとともに、本調査にご協力いただきました商店街並びに関係者の皆様をはじめ各方面の方々にご活用いただければ幸いです。

平成26年6月

熊 本 市

熊本商工会議所

目 次

I 調査の概要	
1. 調査の目的	2P
2. 実施機関	2P
3. 調査日時	2P
4. 調査対象	2P
5. 調査方法	2P
6. 調査地点	2P
(1) 調査地点	2P
(2) 調査地点の追加及び調査地点名の変更	2P
7. 平成25年度調査地点一覧	3P
8. 調査地点図	4P
II 調査結果	
1. 調査結果の概要	5P
(1) 調査結果の前提	5P
(2) 調査日の天候	5P
(3) 前回調査以降の主な動き	5P
(4) 中心商店街の通行量	6P
(5) 熊本駅・地域商店街の通行量	6P
(6) 全体の通行量	8P
2. 地区別概要	9P
(1) 中心商店街の地区別概要	9P
(2) 熊本駅・地域商店街の地区別概要	11P
(3) 通行量上位地点ランキング	14P
3. 各地点の調査結果と平成24年度調査結果との比較	15P
4. 進行方向別通行人数	16P
5. 過去の調査結果一覧	18P
6. 各調査地点の通行量詳細	24P